

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	居住環境の整備		電話番号	087-839-2555
	基本事業	空き家対策の推進		事業実施主体	
	事務事業	空き家等対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民が安全で安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を促進するなど、総合的かつ計画的な空き家対策を実施する。				
29年度概要	老朽危険空き家対策事業（除却支援15件、代執行1件、緊急安全措置） 空き家活用補助事業（空き家バンク改修5件） 空き家対策協議会、啓発チラシ作製その他事務費				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

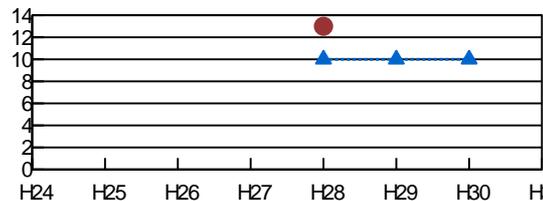
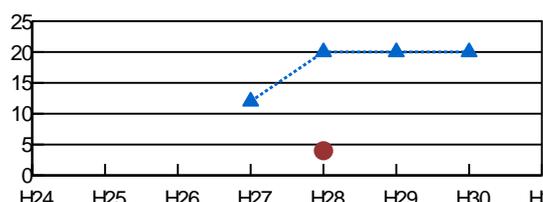
【事業の目的】

対象（何を）	市内に存在する空き家等及びその所有者等
意図（どのような状態にしたいか）	空き家の適切な管理を図ることにより、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
空家に関する相談件数	件			180	250	250

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	老朽危険空家除却支援件数	件	目標値			10	10	10
			実績値			13		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 老朽危険空き家の除却について、補助制度を活用し13件の除却を行った。  (目標達成度)							(達成度) 130.0% 35点
	成果指標	空家改修等支援件数	件	目標値		12	20	20
			実績値			4		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 空き家改修等の補助については、当初の見込みを下回り申込数4件にとどまった。申込みの無かった家財道具の処分に対する補助については平成28年度で終了とする。  (目標達成度)							(達成度) 20.0% 7点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]		19,562	35,772	47,405
（事業費）	[円]		4,800	20,070	31,703
（職員人件費）	[円]		14,762	15,702	15,702

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

空き家等の除却に対する支援や空き家の利活用を推進するなど、総合的な空き家対策を実施したが、特定空き家等を含め放置された空き家については所有者の死後、相続が適切に行われず、関係人等の調査に困難をきたしている状況が少なくないことから、相続登記の促進が課題となっている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

空き家対策は、市民が安全で安心して暮らせる住環境整備を図る上で、喫緊の課題であるため、本事業を推進することが必要である。